

市長への手紙（令和7年度分）

「JR 外房線本宿下踏切について」

この踏切は自動車の往来が多く、人の歩行は大変危険を感じます。特に現在、本納小学校、本納中学校が隣接地にあり、歩行者、自転車の通学等を自動車が接近して通行しなければなりません。この踏切の幅は自動車道路幅であり、歩行者も踏切を通れるよう、幅を広げてほしい。

【回答】

日頃、本市の土木行政にご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、JR 外房線の本宿下踏切の拡幅につきましては、橘樹神社前から本宿下踏切までの歩道整備事業に合わせて、令和6年度より、現況の道幅6mを11.75mにする拡幅工事を進めております。

本年度は、踏切拡幅の支障となる線路内の埋設物（管渠等）の移設工事を行っており、次年度以降に踏切の幅を広げる歩道設置工事を行い、令和10年度の完成を予定しております。

引き続き、JR（東日本旅客鉄道株式会社）と協力しながら踏切の拡幅に取り組んでまいります。ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

【担当課：土木建設課】